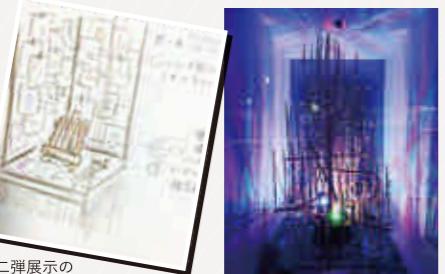


鳴尾インフォメーション

INPUT
01 “駅前の世界一小さな美術館”
「みんなの ちっちゃなアートボックス」
第二弾は武庫川女子大学の美術部が担当！

「みんなの ちっちゃなアートボックス」は、西宮市鳴尾連合自治会と武庫川学院・武庫川女子大学の共同プロジェクトで、鳴尾・武庫川女子大前駅広場の時計台の中に設置された“駅前の世界一小さな美術館”です。



第二弾展示のイメージラフ

今年4月に初披露され、その第二弾の展示を武庫川女子大学の美術部が担当することになりました。部長の池田佳奈さんは「コロナ禍で展示活動がままならない中、今回のアートボックス展示のお話をいただきました。各部員の個性あふれる絵から、ご覧になられた方も想像を膨らませられるような展示内容になる予定です」と熱く語ってくれました。小さなアトリエをのぞき込むような感覚で、楽しんでみてください。



第一弾展示：武庫川女子大学教育学部教育学科藤井達矢教授の作品「苔みの森～NARUO～」

INFO
02 武庫川女子大学の教員と学生が「まちの保健室」と「健康相談ひろば」で地域の皆さんの健康づくりをサポート！

武庫川女子大学看護学部では、看護師・保健師・助産師の資格を持つ教員と学生たちが、地域社会への貢献と学生教育の一環として様々な活動を展開しています。皆さんもぜひ利用して、日々の健康づくりにお役立てください！

※「まちの保健室」「健康相談ひろば」の開催日時は、武庫川女子大学看護学部ホームページでご確認ください。

まちの保健室【参加無料・事前申込不要】

「病院に行くほどでもないけど、ちょっと気がかりなことが…」そんなとき、心と身体の健康について気軽に相談できる、どなたにも開かれた場所です。



開催場所 ららぽーと甲子園 2階オーナンライドコート

健康相談ひろば【参加無料】

鳴尾・武庫川女子大前駅に直結した便利な「武庫女ステーションキャンパス」で開催。「まちの保健室」の内容に加え、不定期で子育て相談や乳幼児の身体測定なども行っています。



開催場所 武庫女ステーションキャンパス（「鳴尾・武庫川女子大前」駅高架下）

イベントの詳細・お問合せ先等は、二次元コードから各イベントのWEBページをご覧ください。

新型コロナウイルスの感染状況によってはイベントが中止になる場合がございます。

ランチ 第3回 どこ行く？

YUNTAN CAFE

店名の「YUNTAN」は、沖縄の方言で"楽しくおしゃべりする"という意味の"ゆんたく"と貯蔵という意味の英語"タンク"を組み合わせた造語だと教えてくれたのは、店主の由香さん。

一番人気は日替わりの「ゆんたんランチ」。管理栄養士の店主が考えるメニューは、メインにお肉か魚、またはいも類や卵を使用し、大豆製品の一品も必ず添えられているので栄養バランスもばっちり。ボリューム満点だが、やさしい味付けなのでペロリと食べられる。現在は、同メニューのお弁当も販売。お家でも同店の味が楽しめるところ重宝されている。

お店をオープンしたきっかけは、地元の鳴尾で頑張る友人たちを見て、自分にも何かできるのではないかと思ったからだそう。

店内にあるかわいい雑貨は店主のお姉さんが選んだもので、店主のお母さんが料理を運んでくれる。家族で切り盛りしているお店はアットホームで居心地がいい。

お屋は子育て中のママ、夜はお一人様、土日は学生と、地元のさまざまな人たちが通うのも納得だ。ぜひ一度足を運んでみては。

私たちが取材しました！

(左から)武庫川女子大学 岡崎さん、塙士さん、上醉尾さん、成田さん

読者サービス!

お料理をご注文のお客様に「アイスクリーム」をプレゼント。
ご注文の際にこの「なるお通信」をご提示ください。(2021年12月末まで)

YUNTAN CAFE

西宮市甲子園五番町1-27 TEL.0798-40-6230
【営業時間】11:00~22:00(月曜休)
(2021年10月現在、~20:00に短縮営業中)



HANSHIN ELECTRIC RAILWAY



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

なるお通信
配布場所

阪神電車各駅、武庫川女子大学、Lavy's Café、知るカフェみなど銀行武庫川女子大学店、みなど銀行鳴尾支店、ライフ阪神鳴尾店、西宮市鳴尾支所・高須分室、なるお会館 ほか
(配布にご協力いただける場合は阪神ステーションネットまでご連絡ください。)

なるお通信 vol.3
(2021年秋号)

発行 鳴尾エリアマネジメント連絡会
(株)エンリッジョン／(株)阪神ステーションネット／阪神電気鉄道(株)／(株)みなど銀行／学校法人武庫川学院／(株)ライフイノベーション／(株)ライフコーポレーション(50音順)
制作 (株)阪神ステーションネット 大阪市福島区海老江1-1-31 ☎06-6347-6601
※なるお通信に関するお問い合わせ・情報提供は阪神ステーションネットまで

「なるお通信 vol.4」は2022年春発行予定です。

お楽しみに！

鳴尾エリア
マネジメント
連絡会

facebook



twitter



※バックナンバーをご覧いただけます。

女子総合大学で学生数日本一・Mukojyoがある街

NARUO TSU-SHIN

なるお通信 Vol.3



CONTENTS

特集：「鳴尾で見つけたSDGs」

企業と企業、企業と大学の連携で、住み続けられるまちづくりを

鳴尾インフォメーション／ランチどこ行く？

TAKE
FREE

なるお通信とは…

鳴尾エリアマネジメント連絡会が発行する、鳴尾に住む人も、住んでいない人も、思わず出かけたくなる鳴尾の魅力を発信するミニコミ誌

UR武庫川団地赤胴車のある広場にて、チアフル親子カフェ参加者の方々と

※撮影時のマスクを外しています。

鳴尾で見つけたSDGs

企業と企業、企業と大学の連携で、住み続けられるまちづくりを

UR都市機構と阪神電鉄は「地域の交流、暮らし、健康等の分野で相互に協力し、阪神沿線のUR賃貸住宅を中心とした地域の活性化に寄与すること」を目的とした、包括連携協定を結んでいます。今回、この連携協定の具体的な施策として、武庫川団地内に引退した赤胴車を移設し地域のコミュニティ拠点とするプロジェクトが進行しました。また、UR都市機構と武庫川女子大学は「武庫川団地と浜甲子園団地における教育文化、子育て・高齢者支援、健康づくり等の様々な分野に関する住民主体のコミュニティ活動の更なる充実を図り、地域の活性化に資すること」を目的とした包括連携協定を結んでおり、武庫川団地内でも様々な取り組みを推進しています。



2021年7月、赤胴車が武庫川団地に! 地域の交流の場として再出発

— 赤胴車が武庫川団地の広場に移設された経緯を教えてください。

盛田さん 阪神電鉄さんと連携協定を締結した時期と同じタイミングで赤胴車が引退するという話を知りました。廃棄されてしまうのはもったいないですし、地域の皆様にも親しまれていた赤胴車なので、武庫川団地のシンボルとして広場に設置することはできないかと阪神電鉄さんに提案したところ快諾していただいたのがきっかけです。



UR都市機構 西日本支社
兵庫エリア経営部 団地マネージャー **盛田 欣哉さん**

— 地域のコミュニティスペースとして活用するために、どのような工夫をされましたか。

盛田さん まず、電車内を利用するために建築物として認められる必要があったので、屋根を含めて空間全体を設計しました。明るく開放的な屋根、駅のホーム模した空間がある広場になりました。車内は空調やコンセントを整備して

Wi-Fiも導入し、集会所やイベント会場として快適に使っていただけるようになっています。

— 早速、様々なイベントに利用されているようですね。

平野さん そうなんです。阪神電鉄さんと共に「チアフル親子カフェ」では、音楽を使った親子で楽しめるプログラムやママ同士の交流会もあり、武庫川団地にお住まいの方も参加されています。また、武庫川女子大学訪問看護ステーションの方を招いて行われる「高須みんなの保健室」では、地域にお住まいの方の様々な健康面のお悩みなどに無料で相談に乗っていただけます。ほかにもスマホ教室を開催するなど、地域のコミュニティスペースとして活用しています。

— UR都市機構が武庫川団地で行ってきた環境整備を教えてください。

盛田さん ハード面では、建物外壁の色を原色からやわらかく落ち着いた色に塗り替え、住宅内設備についてはシステムキッチンを導入するなど、時代に合わせて工夫してきました。また団地内の広場、公園などの公共空間も日々の植栽管理だけでなく、大掛かりな工事も行い、お住まいの皆様が気持ちよく日々を過ごせるよう団地美化を推進しています。

平野さん ソフト面では、生活支援アドバイザーを配置して、皆様の生活面での相談や高齢の方の安心コールなどを行っています。またイベントとして、各種セミナーや講和、スマホ教室などを開催。コロナ禍でも自宅でも楽しめるように、希望者に塗り絵を配布し、集まった作品を展示するなど団地の中でも楽しめる工夫をしました。これからも、多様な世代が安心して住み続けられる地域の形成を目指して環境を整備していきます。



3 すべての人に
健康と福祉を
4 美の高い世界を
みんなに
11 住み続けられる
まちづくり
17 パートナーシップで
目標を達成しよう

持続可能な社会の実現に向けた国際目標として注目されているSDGs。この鳴尾地域にも身近にSDGsにつながる取り組みがありました。UR都市機構で武庫川団地の管理を担当する盛田さんと平野さんへのインタビューを通して事例を紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



PICK UP



武庫川団地×武庫川女子大学 築40年以上の団地をリノベーション

連携プログラムの一つとして、学生が武庫川団地の住戸のリノベーションを実施しました。築40年以上の団地をどう住みやすくなるかを考え、学生たちは実際の施工にも携わりました。暮らす人に寄り添う住まいを実現することで、賃貸住宅の価値向上になりました。



「団地×電車×農×アート」 このテーマで何ができる?

武庫川女子大学教育学部教育学科の藤井達矢教授のゼミでは、アートによる鳴尾地域のにぎわい創出に取り組んできました。もともと「団地×農×アート」というテーマで武庫川団地とコラボをする予定でしたが、赤胴車が設置されたことでテーマが「団地×電車×農×アート」に。現在は、住居棟から赤胴車のある広場に向かう連絡通路下の活用が課題で、ゼミ生からはさまざまなアイデアが出てきており、それらをプラスアップしている段階です。



interview

丸山 健夫 教授

まるやま たけお
丸山 健夫 教授
武庫川女子大学
情報教育研究センター長
情報メディア学科教授

地域と科学の歴史を
テーマに研究。多数の
著作のほか、歴史番組
ペイコム「ジモレキTV」
の主演・監修で活躍中。



武庫川団地の新しいシンボルとして広場にやってきた赤胴車。その歴史には、武庫川線や武庫川団地の発展と深い関わりがありました。今回は、「武庫川線と赤胴車」を上梓した丸山健夫教授に、赤胴車と武庫川線界隈のお話を伺い、その歴史を紐解きます。



Q.今回、武庫川団地の広場に設置されることになった赤胴車にはどのような軌跡がありましたか?

A. 赤胴車とは1958年に誕生した阪神電車の特急・急行用の大型車両のことです。赤色の帯から、人気漫画「赤胴鈴之助」みたいだと、後続する同種のデザイン車両はすべて赤胴車と呼ばれるようになりました。武庫川線に初めて赤胴車が走り出したのは1966年。赤胴車3301形がたった1両で往復し始めます。それ以来、2020年6月2日までの54年間、武庫川線はずっと赤胴車でした。

武庫川団地に保存の赤胴車7890号は、1974年に3904号として誕生しました。1970年代に現在のなんば線の西九条から東への延伸工事が進んだので、地下に入る急な坂道でも安全に走行できる新型のエース車両として設計されました。ところが工事が中断、本来の目的を果たせないまま1986年、武庫川線への「転勤」を命じられます。武庫川線用にモーターやパンタグラフを設置する大改造が行われ、車体番号も新しく7890号となりました。そして34年間、赤胴車引退まで武庫川線で勤務しました。7890号が誕生した1974年は、なんと寅年。生まれ変わった年も寅年です。こんな来歴が語り継がれ、地域の交流の場として愛され続けてほしいですね。



Q.武庫川線と武庫川団地の歴史を教えてください

A. 武庫川線は、武庫川団地の住民にとって欠かせない生活の足となっています。しかし、武庫川線は武庫川団地のために作られたものではなかったのです。戦前のこの地は

戦闘機「紫電改(じでんかい)」などを製作する川西航空機という会社の飛行機工場でした。工場の拡張に合わせて従業員の通勤手段として建設されたのが武庫川線でした。当時は貨物輸送を目的として蒸気機関車SLも走っていました。ところが1945年6月、大規模な爆撃を受けて工場は機能不全に。そのまま終戦を迎えます。そして戦後すぐに武庫川団地一帯は甲子園の周辺とともに、米軍に接収されます。このとき米軍の要請で武庫川線の貨物輸送が再開しました。米軍車両などを運ぶSLの貨物列車が、今のJR西宮までの間を1958年ごろまで往復していました。そんな中、電車の運転も1948年になんとか再開します。ただ占領が続くため、今洲先駅までの復活でした。その後、米軍が去り、工場も移転したので武庫川団地となつたのです。1979年に入居が始まり、武庫川線も1984年、洲先から武庫川団地前までの延伸が完成して、今、武庫川駅と団地前を結ぶ路線になりました。ちなみに飛行機工場の前は、鳴尾ゴルフ俱楽部という由緒あるゴルフ場。そのまた前は、鳴尾速足(はやあし)競馬場でした。赤胴車の展示場所付近に競馬場の一等席がありました。



Q.武庫川線の周辺で歴史を感じられるおすすめスポットはありますか?

A. まずは「JR甲子園口駅前の駐輪場」。武庫川線は川西航空機の従業員のために、JR甲子園口駅まで延伸される計画でしたが、未完のまま終戦を迎えます。2階建にもかかわらず1階部分がない不思議な設計の駐輪場は、建設途中の駅の土台部分。幻の「阪神甲子園口駅」の名残なのです。また、武庫川線にはかつて、蒸気機関車SLが走っていました。そのSLの、蒸気を発生させるための水を補給した給水塔の跡が残っている「甲子園口SL公園」もおすすめです。

